



平成22年の年頭に

Q：今年は何年になりますか？

A：まず、50年ぶりの合併を行い芝川町が富士宮市になります。これにより一層近隣市との連携に弾みがつきます。それから、税収の減は認めません。しかし、新政権が地方に対しどのような策を打ち出してくるか気になります。いずれにしても先の見えぬ財政運営を強いられます。



Q：なぜ、広域連携が必要ですか？

A：今、日本は少子高齢化・人口減少時代で、将来の負担（借金）をあまり掛けることができず、自治体独自の大規模プロジェクトが組み難い状況にあります。しかし、先程述べた問題を解決するための方法として、人口規模や財政負担（コスト）を考え広域連携が必要なのです。



Q：広域連携とは何ですか？

A：今まで二市一町で、住民票等の発行業務を相互で行っていましたが、それ以上に病院（市立）やゴミ処理施設、消防組織、富士山を取り巻く諸課題等一つのエリアとして考えていかなければならないことが発生しています。これらの問題を解決するために近隣市町で連携を行って行くことです。



Q：自身はどのような年にしたいですか？

A：婚活に専念したいです（笑）。四月には議員任期最終年度を迎えます。これまでの反省と更なる飛躍の年にしたいです。



特にマニフェストの実行と情報公開等の議会改革や、タテ割り行政の弊害と効率の良い行政運営をめざしていきたいです。それと、富士宮市の魅力（私も含め）を発信していきたいです。

一般質問 11月

今回は、富士宮市の公衆トイレについて質問をしました。

なぜこんな質問をしたかというと、予算委員会で建替えの浅間大社駐車場のトイレについて

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 値段が高い | 2. コンセプトについて |
| 3. 公衆トイレの配置関係や補助金の流れ | 4. 管理管轄 |
- など議論となったからです。

私たちの会派でも、このトイレの状況について行政視察を行い、建設費用やランニングコストなどについて勉強をしました。

そこで、今回の質問はトイレ行政の縦割りと、トイレ戦略（観光やまちづくりの視点での）の必要性を訴えました。答弁は、“いままでの経緯の中でそういった視点での捉えが無くいたが、今後協議や検討していく必要性を感じている”とのことでした。

まちづくりの拠点としてトイレが活用され、経費の面で費用対効果が産まれるようになってほしいものです。今後もこの件については追跡してみたいと思います。

消防議会

会議の冒頭に管理者である富士宮市長から挨拶があり、最近の火災増加傾向や全国で話題となった、雑居ビルの火災（居酒屋やマージャン店）で死傷者をだしたことに触れ、管内でも立ち入り調査を行ったことが報告されました。

次に審議に移り議案を可決後、その他の活動状況に移り、先程の管理者の報告案件について質問しました。立ち入り調査の結果、違反施設がほとんどで、改善命令を出し避難通路の障害物の撤去や、防火管理者の設定や消火器の設置などは正処置されたとのことでした。

しかし、立ち入り調査を行わなければならない施設は4千件にもものぼり、計画では一周するのに10年掛かるとのことでした。私はその数の多さに驚きましたが、これは物理的に限界があり効果的な啓蒙活動が必要であると考えました。

議会が終了後ある議員からは、『出掛ける度にその施設の避難経路を確認したりする必要があるね』と声を掛けられました。

本当にその通りであると思います。安全は自身から気遣う必要を感じました。

政務調査費

平成21年12月21日～22日 行政視察

岡山県倉敷市『官民競争入札制度』

奈良県奈良市『市立なら病院の指定管理者制度導入の経緯』

■交通費33,806円 ■宿泊費 9,200円
■飲食費7,332円 ■その他 8,182円

政務調査費で視察させていただきました。今後の議会での一般質問や2月議会の予算委員会での質問材料にさせていただきます。



ふじのみや総合研究会

ふじのみや総合研究会の総会に出席しました。講演の講師として城内実衆議院議員を招いて開かれました。



城内議員は、先の総選挙で再び咲きを果たし、毎回全国でも注目されている選挙区として知られています。

本当に茨の道を歩んでおりますが、講演中の「逆境であるからこそ燃えてくる」や「見えないものの力」との言葉は、経験者でなければ語れない重みを感じました。

議会改革議論始まる

11回目となる議会改革ですが、今回は

1. 情報公開・説明責任
2. 住民意思の吸い上げ

と言うことがテーマであると捉えています。

情報公開と説明責任では、議会だよりの発行スピードや内容の見直し（政務調査費・議長公債費の公開等）、議会棟の見学会開催、住民意思の吸い上げでは、議会報告会の開催等検討しこれらを行う方向で決定しました。

詳細については、これから更に検討し実施に向け動いていくこととなりました。

まだまだやりたいことはありますが、着実に進めて行きたいです。

望月芳将 プロフィール

S52.8.12 生まれ
大宮小、二中、富士宮北高卒
平成12年帝京大学理工学部卒業
富士宮にて就職し、青年活動やNPO活動に積極的に参加
H19.4.29 歳 富士宮市議会議員初当選
H20.5 富士宮市議会 議会運営副委員長

趣味はのんびりと温泉浴



創意・挑戦